PDN Lectures

Chapter 1　PEG

6　合併症・トラブル

6-4　皮膚

①　瘻孔感染

講師　鶴岡協立病院消化器内科　科長
高橋美香子

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

＜Point＞

- 軽度の時期に適切に対応しないと急速に悪化、時に経腸栄養継続不能になる

- 対応は
  漏れ対策・・・・・減圧・半固形化投与・小腸挿管（PEGJ）
  スキンケア・・・・洗浄・被覆材・陰圧パック
  カテーテル管理・・圧迫解除・固定法・カテーテル形状の変更

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

定義　　瘻孔感染・創感染

排膿がある場合は確定。また、発赤・腫脹・硬結・疼痛等があり、抗菌剤投与や局所処置、栄養剤使用の中止や延期を行った場合。

「Jainの基準」スコアの合計が８点以上、もしくは明らかな膿汁の流出がみられたときに「感染あり」とする。

第2回PEGコンセンサスミーティング（HEQ学術用語委員会）

注：造設早期も慢性期も同じ基準を用いている
ここでは慢性期のものについて解説する

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

診断基準

Ｊａｉｎの基準

発赤	浸出液	硬結
０～発赤なし	０～浸出液なし	０～硬結なし
１～直径 ＜5㎜	１～漿液	１～直径 ＜10㎜
２～直径 6～10㎜	２～漿液血液状	２～直径 11～20㎜
３～直径 11～15㎜	３～血性	３～直径 ＞20㎜
４～直径 ＞15㎜	４～膿性	

合計が８点以上、または明らかな膿汁の流出があれば「感染あり」

PDN Lectures

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

原因

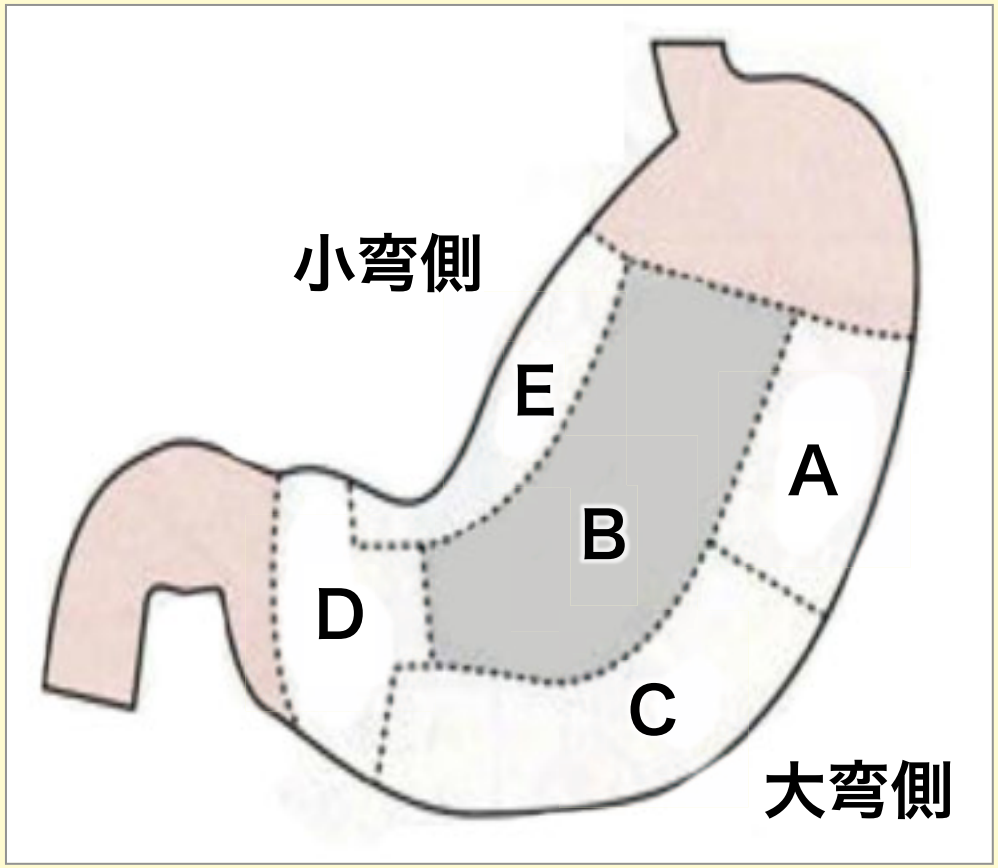
- 造設直後の瘻孔感染は造設手技の影響が大きいといわれている
- 慢性期の瘻孔感染は難治性の漏れが原因となることが多い

難治性の漏れ

胃排出能低下
腹圧が高い場合
胃瘻の傾きが大きい場合
胃瘻造設位置

瘻孔感染⇒全身状態不良例では重篤化⇒時に経腸栄養継続不能
⇒瘻孔感染を起こさないための日常の管理が重要

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.



A:出血注意
　嘔吐・胃食道逆流多発地帯
B:ベストポジション
C:大腸誤穿刺に注意
　出血注意
　漏れ多発地帯
　スキントラブル
　誤挿入注意
D:下痢に注意
　漏れ多発地帯
E: 肝臓誤穿刺に注意
　出血注意
　胃内潰瘍に注意

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

対策

漏れのコントロール

- 胃内圧減圧⇒注入前のガス抜きの徹底
- 消化管運動賦活剤投与
- 排便コントロール（下剤の使用）
- 注入速度の調整
  胃排出能低下症例では、特に重要（ポンプでの注入速度調節）
- 半固形栄養剤投与
- 経胃瘻的小腸挿管

皮膚への処置・チューブ管理

- ティッシュこより・創傷被覆材・撥水性クリーム・陰圧パック療法
- チューブが垂直に立つような工夫

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

・造設位置により起こる難治性の漏れ⇒対処困難
⇒経胃瘻的小腸挿管（PEG-J）への移行
⇒抜去後再造設の検討

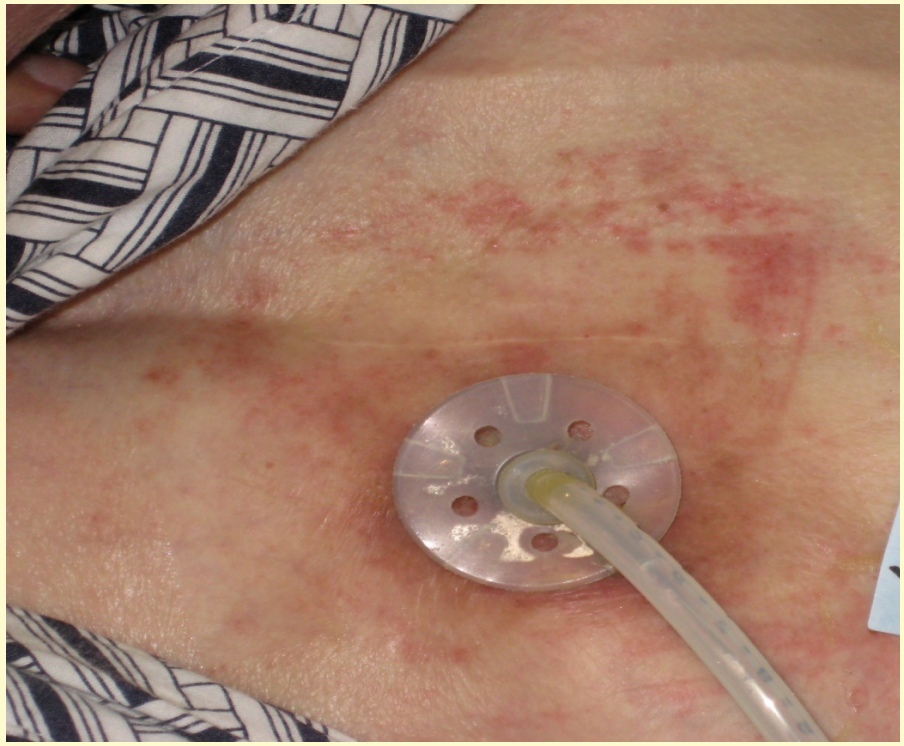
・胃瘻部の保清は基本
　入浴や清拭の徹底

・少量の漏れへのケア
　ティッシュこより（頻回の交換）
　創傷被覆材（ペグケアなど）
　化粧用のパフ

PDN Lectures

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

造設位置の問題より難治性の漏れがコントロールできなかった症例



１）難治性の漏れが続き感染を起こした。減圧、消化管運動賦活薬の投与、半固形化などを試みたが改善は見られなかった。

２）Direct PEJを行い、抜去したが、閉鎖不全をおこし、胃内からのクリッピングや体表からの縫合を行い、なんとか閉鎖させた。

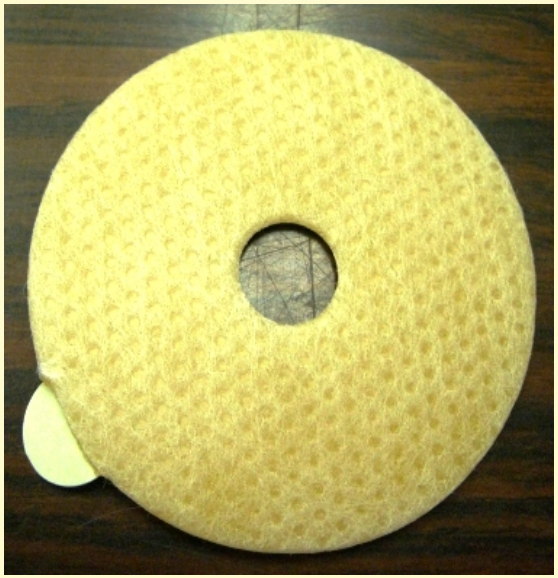
Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.

瘻孔感染の予防～バンパーを垂直に立てる工夫

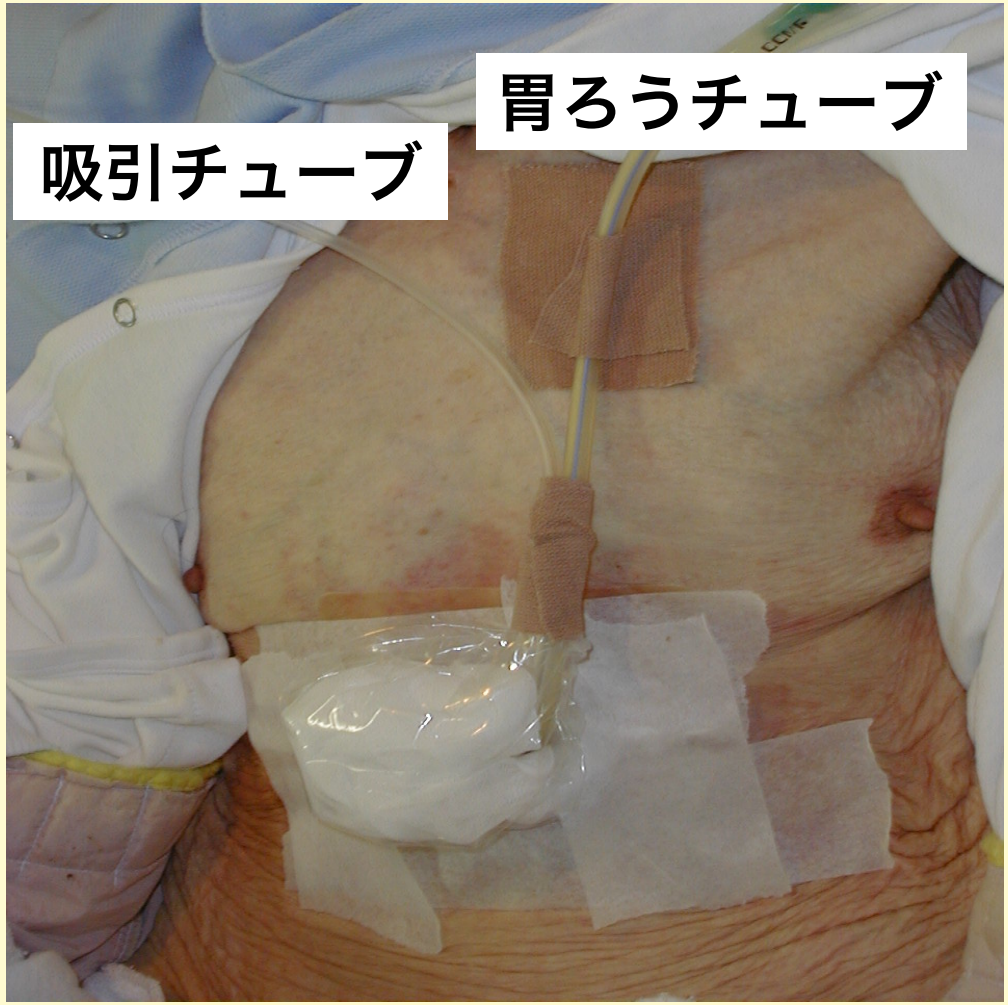
生理用ナプキン「うなぎ巻き法」

台所用スポンジ固定

Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.



Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.



Copyright© 2012 PEG Doctors Network. All Rights Reserved.